



文化財の保存と活用から考える 川越の歴史と未来

令和5年2月23日(木・祝) 14:00~16:30 入場無料
(13:30開場) *事前申込制

ウェスタ川越1F多目的ホール
(川越市新宿町1-17-17、川越駅西口徒歩5分)



文化財の保存と活用から考える —川越の歴史と未来—

川越市には、265件の指定・登録文化財を始めとして、まだ指定されていない多くの歴史遺産があります。これらの保存と活用の今後を考えるために、川越市文化財保存活用地域計画の作成を進めています。今回のシンポジウムでは、2つの講演から川越市の歴史的な成り立ちと、その「地域の力」について探ります。このシンポジウムが川越市の歴史と未来を考える一つのきっかけになればと考えています。

プログラム *開 場/13:30

▶開 会 =14:00

▶講 演1 =14:10 梶 よう子氏



「江戸時代のSDGs—川越藩領三富新田と庶民の暮らし—」

東京都生まれ。作家。2005年『い草の花』で九州さが大衆文学賞、2008年『一朝の夢』で松本清張賞を受賞。2015年『ヨイ豊』で直木賞候補。同作で第5回歴史時代作家クラブ賞作品賞受賞。その他、『御薬園同心 水上草介』シリーズや、『広重ぶるう』『空を駆ける』『我、鉄道を拓かん』などがある。『赤い風』で江戸時代の元禄期に開発された三富新田を題材とする。

▶講 演2 =15:15 落合 義明氏



「地域の力を歴史にさぐる—中世の河越を例にして—」

1967年川越市生まれ（その後40年ほど在住）。現在大東文化大学文学部歴史文化学科教授。専門は日本中世史。鎌倉時代の武蔵武士についての論文多数。著書に『中世東国の「都市的な場」と武士』（山川出版社）、『中世東国武士と本拠』（同成社）がある。川越市文化財保存活用地域計画策定協議会において座長を務め、本計画の作成にあたる。

▶討 論 =16:00 「文化財の保存と活用から考える—川越市の歴史と未来—」
梶氏、落合氏、文化財保護課職員によるディスカッション

▶閉 会 =16:30

日 時 令和5年2月23日（木・祝）14:00～16:30

会 場 ウェスタ川越1F多目的ホール

申込み方法（事前申込制、先着200名）

電子申請か往復はがき（1枚につき2人まで）

【電子申請】市役所ホームページから

【往復ハガキ】①催し名 ②郵便番号

③住所 ④氏名（ふりがな） ⑤電話番号

<送付先> 350-8601川越市元町1-3-1

川越市教育委員会 文化財保護課宛

【申込み期間】令和5年1月30日（月）当日必着

主催・お問合せ先

川越市教育委員会文化財保護課 TEL 049-224-6097

E-mail bunkazai@city.kawagoe.lg.jp

開場案内



QRコード



令和4年度文化庁
文化芸術振興費
補助金事業